

『北海道クルーズ・旅客船メルマガ』は、クルーズ振興が海事振興にとどまらず、地域振興、観光振興にも寄与することから、クルーズ情報に限らず、フェリー・旅客船に関する情報や一般海事情報、地域観光情報等も含め、幅広くご提供したいと考えております。

<目次>

1. 情 報：北海道クルーズ振興協議会第15回総会を開催します！
～総会後に「記念講演会」も同時開催～
2. 函 館：あなたも船旅に出かけませんか
～函館港クルーズセミナーを開催～
3. 情 報：北海道を発着する中長距離フェリーの活性化について
4. 情 報：フェリーで船旅を楽しみませんか
～新造船就航や新規航路開設でもっと便利に、快適に～
5. 情 報：「クルーズなんでも屋」vol.36！
将来はクルーズ船のお仕事に！
～子ども達がつぼん丸クルーに混ざって仕事を体験～
6. 事務局からのお知らせ

-
1. 情 報：北海道クルーズ振興協議会第15回総会を開催します！
～総会後に「記念講演会」も同時開催～
-

北海道クルーズ振興協議会では、平成29年度の事業報告と平成30年度の事業計画などを検討・審議する第15回総会を、平成30年5月15日（火）14時から札幌第2合同庁舎9階講堂で開催いたします。

この1年間に各港湾において各港湾管理者や関係者の連携により行われた様々な活動の報告を行うとともに、次年度の事業についての計画を会員総意のもとで確認いたします。

また、3月6日から米国フロリダ州で開催された世界最大級のクルー

ズ・コンベンション「シートレード・クルーズ・グローバル2018」へのブース出展と出展にあわせて行ったクルーズ船社へのセールスコールについての報告会も予定しています。

平成30年度は前年度より1隻増ののべ107隻のクルーズ客船が北海道へ寄港することが予定されており、4年連続の増加となっておりますが、クルーズ客船の寄港は港湾振興だけではなく、地域における観光や経済への波及効果も大きいため、北海道各港湾へのさらなる寄港増加に向けた取り組みについて議論していきます。

<問い合わせ先>

北海道クルーズ振興協議会 事務局

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部

<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

2. 函 館：あなたも船旅に出かけませんか

～函館港クルーズセミナーを開催～

平成30年3月10日（土）、函館市国際水産・海洋総合研究センターにおいて、市民の皆様により身近にクルーズを感じていただき、少しでも多くの市民に函館からクルーズ船に乗船していただくことを目指して、函館地区クルーズ振興協議会主催によるクルーズセミナー「あなたもクルーズの旅に出かけよう」を開催し、110名をこえる参加をいただきました。

第1部では、日本海事新聞編集局次長の沖田一弘氏より「船旅の魅力とクルーズ業界の動向」と題して基調講演が行われました。

クルーズ業界を取材して20年以上のキャリアから、クルーズ旅の特長について、全食事付きで、船内でのさまざまなイベントを楽しめて、寝ている間に次の観光地へ移動ができ、非日常の体験が楽しむことができると語られました。

今後に向けてとして、より多くの市民が観光案内や通訳ボランティアに参加し、もてなしに磨きをかけるには、市民全体で知恵を出し合い、寄港地から乗下船する港にしていかなければならないとのアドバイスを

いただきました。

第2部では、日本発着のクルーズを実施している、商船三井客船株式会社、株式会社カーニバル・ジャパン、郵船クルーズ株式会社より、商品の紹介をしていただきました。

また、セミナーの冒頭では、協議会の活動に積極的に参加され、10年以上にわたって、英語教育を通して通訳ボランティアや観光案内、書道・茶道などの日本文化の発信、クルーズ船の見送りにご協力いただき、クルーズ振興に貢献してこられた「学校法人遺愛学院 遺愛女子高等学校」に感謝状を贈りました。

このセミナーをとおして、これまでクルーズには、あまりかかわりの無かった参加者にも、クルーズ旅行は思いのほか気軽に参加でき、敷居が高くないことが浸透し、関心が高まったのではないかと思います。

函館地区クルーズ振興協議会は、函館港が今後ますますクルーズ客船で賑わい、市民の皆様により身近にクルーズを感じていただけるよう、引き続き、取り組みをすすめていきます。

<問い合わせ>

北海道運輸局函館運輸支局 矢島

<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

3. 情報：北海道を発着する中長距離フェリーの活性化について

北海道と本州を結ぶ中長距離フェリーの利用者数は、平成6年度の145万人をピークに、27年度は105万人にまで減少しています。

そこでこの度、フェリー離れの要因とフェリー利用者の求めているニーズを一般消費者アンケートにより把握するとともに、旅行会社、フェリー会社及びマスコミ等による3回の意見交換会を基に利用促進策を検討しましたのでその概要をご紹介します。

- フェリー離れの主な要因（上位5）

- ・利用する機会がない
- ・船酔いが心配
- ・時間がかかる
- ・目的地までの航路がない
- ・港までの交通網が不便

●利用者の求めているニーズ（上位5）

- ・より安い運賃
- ・安全性
- ・船内設備の充実
- ・航行時間の短縮
- ・航路の多様化

●課題別利用促進策

- ・修学旅行等の教育旅行については、先生へのPR等
- ・インバウンドについては、SNS発信、旅行事業者の招請等
- ・国内旅行者については、マスコミの活用、船上イベントの開催等

北海道運輸局ではこの検討結果に基づき、今後も引き続き中長距離フェリーの活性化に取り組んでいきたいと考えております。

<問い合わせ先>

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 宮崎

<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

4. 情 報：フェリーで船旅を楽しみませんか

～新造船就航や新規航路開設でもっと便利に、快適に～

道内と本州を結ぶフェリーで新造船就航や新規航路開設が相次いで行われる予定となっております。

フェリーでの船旅がさらに便利に、お得になる情報をご紹介しますので、これからの旅行計画の参考になさってください。

○津軽海峡フェリー～3ヶ月前から乗船予約可能に

津軽海峡フェリーでは、平成30年4月1日（日）午前9時より、全ての客室がすべての予約方法で3ヶ月後の同日分までの予約が可能となります。

予約可能日が1か月早くなったことで余裕をもってご旅行のプランを立てることができるようになります。

詳しくは津軽海峡フェリーのホームページをご覧ください。

https://www.tsugarukaikyo.co.jp/cp/reserve_3months/

○川崎近海汽船～新造船『シルバーティアラ』デビュー

平成30年4月25日（水） 苫小牧～八戸航路に新造船『シルバーティアラ』がデビューします。

大切なペットとの旅行を楽しめる「ペット同伴室」や赤ちゃん連れの方にやさしい女性専用の「あかちゃんルーム」等が設けられ、快適な船旅がお楽しみいただけます。

詳しくはシルバーフェリーのホームページをご覧ください。

<http://www.silverferry.jp/>

○川崎近海汽船～室蘭と宮古を結ぶ新しい航路が誕生します

平成30年6月22日（金）に室蘭と宮古を結ぶ新しい航路が誕生いたします。

本航路は室蘭港にとっては10年ぶりのフェリー航路復活、岩手県では初となる航路であり、北海道から岩手県の魅力的な観光地を訪れるのに大変便利な航路で、シルバーフェリーのホームページにはすでに新航路のプロモーションビデオが公開されております。

新規航路の一般のお客様および乗用車のご予約開始は4月22日（日）午前9時より開始されます。

詳しくはシルバーフェリーのホームページをご覧ください。

<http://www.silverferry.jp/>

<問い合わせ先>

北海道クルーズ振興協議会 事務局

北海道運輸局 海事振興部 旅客・船舶産業課 武部

<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

5. 情 報 : 「クルーズなんでも屋」 vol. 3 6 !

将来はクルーズ船のお仕事に!

～子ども達がいっぽん丸クルーに混ざって仕事を体験～

いつもメルマガをお読みいただきありがとうございます。

さて、読者の皆さんは『「C to Sea」(シー・トゥ・シー) プロジェクト』という言葉聞いたことがありますか?

平成29年の海の日から、国土交通省が子どもや若者をはじめ、より多くの人に海や船の楽しさを知ってもらうため、海との接点を広げる新たな取組み、「海に行く」「船に乗る」「海を知る」につながる様々な新しいアクションを実際に起こしていこうというものです。

今回は「いっぽん丸」(商船三井客船)のホームページより、この趣旨に賛同し、昨年12月25～26日、神戸～横浜ワンナイトクルーズの1日目に実施された「キッズクルー体験」を紹介したいと思います。

参加の子ども達は約2時間、親御さんから離れて、「キッズクルー体験」として、「航海士」、「ホテルサービス」のお仕事に向かい「ロープワーク」、「ナプキンの織り方」を体験したとのこと。きっと、慣れないこともあり悪戦苦闘した子ども達もいることでしょう。さらにこのイベントの講演のために乗船した海洋冒険家の「白石康次郎」さんも、操舵の際にご自身の体験談を語ってくれたとのこと。

また、最後には頑張った子供達にお給料(船内商品券)とキッズクルー認定証、それに海の仕事を知らするためのDVD2枚セットのご褒美が。きっとお子さん方には良い経験になったのではないかと思います。

これをきっかけに、海やクルーズ船等にもっと親しみをもっていただければと思いますし、私どもも機会を捉え子ども達へのPRを進めて行

きたいと思いこのブログを読んだところです。

今回のイベントの雰囲気をお知りになりたい方は、にっぽん丸ホームページより「かもめ課長のブログ」2017.12.25～29 をご覧下さい。

<https://www.nipponmaru.jp/>

また、白石康次郎さんのご活躍に関しては、ご本人のホームページをご覧下さい。

<http://www.kojiro.jp/>

「クルーズなんでも屋」へのご投稿は、こちらまで
<mailto:hok-kaijishinkou@hkt.mlit.go.jp>

6. 事務局からのお知らせ

▼1

クルーズ寄港情報や過去のメールマガジンについては、北海道クルーズ振興協議会のホームページをご覧下さい。

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise1.html>

▼2

購読新規登録はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_1.html

▼3

登録変更・解除はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/bunyabetsu/kaiun/cruise/cruise13_2.html

北海道クルーズ振興協議会 事務局
国土交通省 北海道運輸局 海事振興部
旅客・船舶産業課 武部 千穂

TEL:011-290-1011 FAX:011-290-1021

<mailto:hok-kajishinkou@hkt.mlit.go.jp>

.....